

**製品名: 肝臓カルボキシルエステラーゼ 1 (17Z1) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13343**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.42mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	63kDa

**抗原情報**

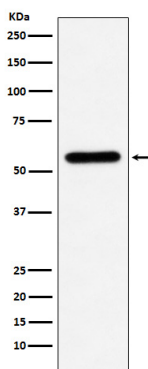
遺伝子名	CES1 ACAT; CE 1; CEH; CES1; CES2; CESDD1; Egasyn; ES-HTEL; ES-x; Es22; Esterase 22; hCE 1; HMSE;
別名	HMSE1; REH; SES1; TGH; Triacylglycerol hydrolase;
遺伝子 ID	1066.0
SwissProt ID	P23141
免疫原	ヒト肝臓カルボキシルエステラーゼ 1 の合成ペプチド

## 背景

生体外物質の解毒作用、ならびにエステルおよびアミド系プロドラッグの活性化に関与する。芳香族エステルおよび脂肪族エステルを加水分解するが、アミドや脂肪酸アシル CoA エステルに対する触媒活性は示さない。コカインのメチルエステル基を加水分解してベンゾイルエクゴニンを生産する。生体外物質の解毒作用、ならびにエステルおよびアミド系プロドラッグの活性化に関与する (PubMed:7980644, PubMed:9169443, PubMed:9490062, PubMed:18762277)。芳香族エステルおよび脂肪族エステルを加水分解するが、アミドまたは脂肪酸アシル CoA エステルに対する触媒活性は示さない (PubMed:7980644, PubMed:9169443, PubMed:9490062, PubMed:18762277)。コカインのメチルエステル基を加水分解してベンゾイルエクゴニンを生産する (PubMed:7980644)。コカインのエステル交換反応を触媒してコカエチレンを生産する (PubMed:7980644)。脂肪酸エチルエステル合成酵素活性を示し、オレイン酸をエチルオレートに変換するエチルエステル化を触媒する (PubMed:7980644)。モノアシルグリセリドを遊離脂肪酸とグリセロールに変換する。2-アラキドノイルグリセロールおよびプロスタグランジンを加水分解します (PubMed:21049984)。細胞内のコレステロールエステルを遊離コレステロールに加水分解し、その過程の初期段階と最終段階の両方を促進することで、コレステロール逆輸送 (RCT) を促進します (PubMed:18762277、PubMed:16024911、PubMed:11015575、PubMed:16971496)。まず、マクロファージから細胞外コレステロール受容体への遊離コレステロールの排出を可能にし、次に肝臓でリポタンパク質によって送達されたコレステロールエステルから遊離コレステロールを遊離させ、胆汁酸の合成または胆汁への直接分泌に利用します (PubMed:18762277、PubMed:18599737、PubMed:16971496)。

## 研究分野

## 画像データ



U937 細胞溶解物中の肝臓カルボキシルエステラーゼ 1 発現のウェスタン ブロット分析。